

## 第4回 黒部ルート一般開放・旅行商品化準備会議

日時：令和4年9月2日（金）

13：30～15：00

場所：富山県民会館8階バンケットホール

### 1 開会

### 2 挨拶（蔵堀 富山県副知事）

副知事の蔵堀でございます。

本日は皆様、大変ご多忙の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

この黒部ルートでございますけれども、令和6年度、2024年度から最大1万人の一般開放・旅行商品化を実施することになっております。ここに至るまで、関西電力さんには大変ご尽力いただきまして、まずお礼を申し上げたいと思います。また、地元の黒部市さん、観光の事業者さんをはじめ、関係の皆様と連携して、しっかり準備を進めて参りたいと考えております。

一般開放・旅行商品化によりまして、世界的な山岳景観を誇っております立山黒部アルペンルートと、V字峡谷でございます黒部峡谷を周遊することが可能になるということでございます。さらに、日本の電源開発の歴史といったものも体感できる貴重な産業観光ルートにもなると考えております。

私も7月下旬、黒部ルートを視察させていただきました。数年ぶりに通ったんですけど、関西電力さんの安全対策工事も順調に進んでいると思ったところなんです。また改めて、素掘りのトンネルの迫力ですとか、高熱隧道における硫黄の匂いや熱気が感じられたところです。この建設工事は60年以上前にされたものですけど、大変なご苦労があったものと思っております。

令和5年、来年でございますが、宇奈月温泉開湯100周年や黒部ダム完成60年という大きな節目の年でもございます。さらにその翌年、令和6年の春には北陸新幹線敦賀延伸が予定されております。黒部ルートへの期待はますます高まっていくと思っております。

本日は、県が進めている旅行商品化の造成イメージやスケジュール、さらには黒部さんが計画されている取組み、関西電力さんが進められております安全対策工事の実施状況等などについてご説明させていただきたいと思っております。その後、皆さんからご意見をいただきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 3 委員紹介（新任のみ）

### 4 議事

#### 【司会】

なお、委員の皆様につきましては本来であればお一人ずつご紹介させていただくべきところでございますけれども、時間の関係もございますので、お手元の委員名簿に、出席の配席図にてご紹介に代えさせていただきます。

次に、資料のご確認をさせていただきます。資料は、お手元の次第の下に委員名簿、配席図、資料は1・2、それから関西電力様の資料がございます。もし資料の不足等がございましたら、お申し付けください。それではここからの進行は、西村委員長にお願いしたいと思います。西村委員長、よろしくお願ひいたします。

#### 【西村委員長】

委員長を務めます西村です。宜しくお願ひいたします。

前回の会議は今年1月に開催しましたが、状況が進んでまいりましたので、その状況を報告いたします。その後、委員の皆様全員にご発言いただこうと思っておりますので、宜しくお願ひします。

それでは、議事（1）一般開放・旅行商品化に向けた取組み状況につきまして、まず、県における取組み状況の説明をお願ひします。

（事務局より資料1に基づき説明）

#### 【西村委員長】

ありがとうございます。それでは続きまして、黒部市における宇奈月温泉街等の魅力創出・受入体制整備に関しまして、黒部市より説明をお願ひしたいと思います。

（黒部市より資料2に基づき説明）

#### 【西村委員長】

ありがとうございます。

それでは続きまして、黒部ルート的一般開放・旅行商品化に向けて、関西電力が進めておられます安全対策工事の状況につきまして、資料及び映像を用意していただいておりますので、本日出席の久米委員から説明をお願ひしたいと思います。宜しくお願ひします。

#### 【久米委員】

関西電力の久米です。本日は宜しくお願ひいたします。

お手元にA3の資料をお配りしております。それと新しい映像を撮ってまいりましたので、現在の安全対策工事の状況をご説明したいと思います。

まずこの資料につきましては、以前もご覧いただいたかと思っておりますけれども、工事

の概要として四つ、①上部軌道トンネル安全対策工事、②上部軌道避難箇所整備、③上部軌道車両更新、④黒部トンネル安全対策工事となっております、資料右側に工事工程を記載しております。

これらの工事につきましては全て夜間、午後8時から早朝3時までの間、冬期も含めて通年で行わせていただいておりますが、何度か中断しております。これまでご説明しましたが、新型コロナの関係で何度かの中断と、これはちょっと申し訳ないことですが、労働災害が発生してしまいまして、2か月ほど工事を中断しました。現在のところ、全体として6割弱の工事が完了しております、引き続き2024年春に向けて工事を進めていきたいと考えているところです。

では、続きまして、実際の安全対策工事の映像、特に今年の冬、高熱隧道において予定しております工事の内容について、ご紹介させていただきたいと思っております。

(映像の説明)

### 【西村委員長】

ありがとうございました。

この準備会議は、黒部ルートに関する取組みの状況などを共有して、様々なご意見を伺うことが目的となっておりますので、委員の皆様方から今後の展開等につきまして、ご意見をいただきたいと思っております。

まず、全国的・全県的な活動をされている委員からご意見をいただき、次に地元関係の委員からご意見をいただきたいと思っております。

こちらで指名させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

まずは、旅行業の観点から、JATA（日本旅行業協会）の富山地区委員会委員長の松田委員、お願ひします。

### 【松田委員】

日本旅行業協会富山地区委員会の松田でございます。

今ご説明いただきまして、非常に魅力あるコースというのは、もう説明しなくても皆さん分かっておられると思っております。商品造成については、まだ期間的にゆとりがあると思っておりますけど、できるだけ早い段階で、商品造成の話を業界内でしていければと思っております。JTBさんのほうでできるだけ早く案を作ってください、それを参考にして、また提案等もできればいいかなと思っております。

JATAとしては、一致団結してこの商品を全国に展開していきたいと思っております。

宇奈月温泉も来年開湯100年を迎え、宇奈月温泉も含めた強力な旅行商品ができるということで、我々としても、宇奈月温泉も含め、一緒に頑張っていきたいと思っております。

### 【西村委員長】

ありがとうございました。続きまして、観光業及び交通事業者の観点から、JR東日本の日野委員、お願ひします。

## 【日野委員】

はい、ありがとうございます。JR東日本の日野でございます。

今、関西電力の工事映像を拝見いたしまして、大変な環境の中で工事されていることを実感し、関係者の皆様に感謝申し上げたいと思います。

県の資料1ページの旅行商品についてのページを拝見いたしまして、最大1万人の具体的な内訳が分かりました。この中で、午後の便が中心になることをお聞きしました。午後の橿平発の便の活用方について、資料4ページを見ますと、例えば大町泊等をイメージされているなど、様々なバリエーションで工夫されていて、こういった方法もあると確認できました。

それから名称のお話もございました。アルペンルートに対して、比較でキャニオンルートということで、語呂も非常にいいなということで、これを個人の旅行者へ展開していく際にも非常に馴染みやすい、イメージしやすいということで、情報発信においても非常にいいのではないかなという感想を持ちました。

今後のご説明の中で、例えば現地視察のお話もございました。北陸DCの前ということで、こういった情報を今後首都圏、或いは関西圏などの大都市圏に発信して、認知向上を目指していくと思いますが、その段階が一番大事になってくると思っております。

先ほど松田委員からお話があったように、各旅行会社に対する幅広い販売の仕組みや併せてこの情報発信に関して、我々もしっかりご協力して参りたいと思います。

## 【西村委員長】

どうもありがとうございます。それでは、交通事業者の立場から、JR西日本の漆原委員、お願いします。

## 【漆原委員】

JR西日本の漆原でございます。

日頃はお世話になっておりまして、ありがとうございます。

前回の会議を欠席させていただいて、今日先ほど関西電力の安全対策工事の映像を拝見しまして、本当に迫力のある所だなということで、私も是非行ってみたいと思った次第です。

北陸新幹線が敦賀まで開業しますと、この北陸の中の移動時間が大幅に短縮されて、全体で1時間圏内に入るということで、広域観光周遊を3県の皆様や色んな地域の皆様と進めていきたいと思っておりますが、やっぱり大きな核になるような観光素材が必要だろうと思っております。金沢は北陸新幹線の金沢開業で大きなスポットを浴びて、一つの大きな核でありますけども、この黒部ルートも大きな魅力のある素材になるのではないかと考えています。

人数が限られているということではありますけども、敦賀開業で北陸にスポットが当たっているとき、ほぼ同時期に黒部ルートが一般開放されるということで、その中で広く発信していくことができますし、取り上げられることも多くなってくると思います。既存の立山黒部アルペンルートも含めて、この立山・黒部・宇奈月にスポット

が当たるチャンスだと思います。そういった観点でも、この素材を活かしてまいりたいと思っています。

今回、旅行商品の造成イメージを提示いただいて、2泊3日や3泊4日といったしっかり滞在していただくプランを作っていただいているのは本当にありがたいと思いますし、この機会に富山を知っていただく意味でも、黒部ルートを活かしていければと思っています。私どもとしては、特に関西からの移動時間が大幅に短縮されますので、特に関西方面からたくさん来ていただけるようPRして参りたいと思います。

#### 【西村委員長】

ありがとうございます。同じく交通事業者の観点から、ANAの宮本委員、お願いします。

#### 【宮本委員】

ANAの宮本です。宜しく願いいたします。

旅行商品のご説明にありましたけれども、商品の造成イメージがしやすくなったと思いました。その中で、札幌・富山線を利用したイメージも作っていただき、ありがとうございます。県の資料で、商品のスケジュールを確認させていただきましたが、旅行も単品化やFIT化などが進む中で、その旅行商品をどういう形の形態で造成していくのか、最近ではネット販売が増えてきている中でどういう販売方法でやっていくかについて、今後、具体的にスケジュールや詳細を説明していく必要があると思います。それによって、どこの旅行会社さんが商品造成するのかということも出てくるのかなと思っています。

新ルートについては、非常に希少性のあるコンテンツということで、来年度以降、どうプロモーションしていくか。新ルートといっても、なかなか一般の方にわかりづらいと思いますので、このルートの何が魅力的で何が他のものと違うかといった特徴をきちんとPRしていくことが大事だと思っています。我々もその部分については一緒にプロモーションをしていきたいと思っています。よろしく願いします。

#### 【西村委員長】

ありがとうございます。続きまして、県内宿泊事業者の観点から、県のホテル旅館生活衛生同業組合の坂井委員、お願いします。

#### 【坂井委員】

ホテル旅館生活衛生同業組合の坂井です。いつもありがとうございます。

非常にタイミングがいいなと思っています。今コロナが真っ盛ですけれども、多分そろそろピークが来て、収束に向かうのかなと思います。そのタイミングで、宇奈月温泉が来年開湯100周年、それから北陸新幹線の敦賀延伸、そしてこの黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放ということで、すごいタイミングがいいと思うんですね。

コロナの感染が増えないよう祈るばかりで、これに関しては、年間最大1万人なので、そうなのかなと思いますけれども、いろんなプロモーションをされると思います

ので、富山県の認知度がすごく上がると思うんですね。キャニオンルートには行けな  
いけど、富山県には行くという人もたくさん増えると思いますし、先日ちょっと速報  
値を聞きましたが、このコロナ禍においても、富山県はいまのところ前年対比で伸び  
率が全国で4番目、前年は全国で2番目です。非常にそういったところからも考えて、  
タイミングが非常に良くて、いろんな宣伝材料がありますので、今後非常に期待をし  
ていこうと思っております。以上でございます。

#### 【西村委員長】

どうもありがとうございます。

では続きまして、県内に拠点を置く旅行業の観点から、県旅行業協会の永守委員、  
お願いします。

#### 【永守委員】

富山県旅行業協会の永守です。どうぞよろしくお願い致します。

非常にワクワク感を持ちながら、各委員の意見を聞かせていただきました。ただ各  
委員の意見にはいかに売ればいいのかという販売手段に対して意見が無かったように  
思いました。開業までには多少時間はありますが早く商品造成をして、その商品の値  
付けや販売エリア、販売量などを県内外の国内をはじめ外国にも周知しないといけな  
いのではないかと考えており早く手立てを講じるべきではないでしょうか。

黒部ルートの年間の送客数は8,000人から最大で10,000人となっております。実際  
ツアーが催行できるのは1年間で5ヶ月程度であり、月に2,000人として、日に60～  
70人です。旅行会社とその人数のうち、どの程度の人数を取扱いさせてもらえるのか  
も非常に気になる場所ではないかとも思います。

我々としては商品価格、取扱可能な人員及びセールス展開をする個所などを早く考  
えていきたいと思っております。それにはコース内容やスケジュールがあればより身近に感  
じながらセールス展開がよりスムーズになるとも思っています。

このコロナ禍において、マイクロツーリズムが声高に叫ばれ近場の旅行商品の取扱  
いが増えました。商品価格は安く、近く、短いものがほとんどで、それまでの遠くて、  
長くて、高額な商品にとって変わりました。これからこの傾向は続いていくこととし  
ょう。

このマイクロツーリズムの観点からも黒部ルートの一般開放、旅行商品造成は販売  
のお手伝いができると思っています。商品のラインナップを早急にさせていただき、情  
報をお聞かせいただければどう販売していこうかという次のステップにいけると思  
いますので宜しく願いいたします。

#### 【西村委員長】

ありがとうございます。続きまして、県の観光地域づくり法人、とやま観光推進機  
構の高木委員、お願いします。

## 【高木委員】

実は生まれて初めて、黒部ルートを今週視察してきました。視察する機会は何回もあったんですけど、一般開放・旅行商品化に向けて準備が大分進んできたし、今回行かせていただきました。大変すばらしかったです。帰りは立山黒部アルペンルートを通して帰ってきました。1日で乗り物に10回乗るんですね。待ち時間なしでスムーズにご案内いただいたんですけど、正直言ってちょっと疲れました。こんなすばらしいところですね、是非じっくりと一泊して見るようなシステムにならないかなと思ったところです。

感想は以上ですが、ちょっと細かい気付いた点を申し上げたいと思います。

まず1点は、一般開放に向けて皆様ワクワクしているところですが、今日お集まりの方々が前向きに役割分担をできるだけ早急に決めて、責任を持ってやるということが大事だろうと思います。例えば、20年前、最高視聴率が53.8%だった紅白歌合戦で中島みゆきさんが唄った黒部川第四発電所を見れますが、あの映像は使えません。是非、NHKさんにはご尽力をいただいて、中島みゆきさんにも許可をもらって黒部川第四発電所で映像を見せるというように、さらに磨き上げていくとかですね。

それから、以前、赤羽国土交通大臣が宇奈月温泉に来ていただいた時、廃旅館の解体費用の支援を要望しました。大臣は対応が早くて1年経たないうちに補助制度を創設されました。恐らく、全国から同じような要望が来ていたのでしょうか。問題は、例えば駐車場への案内看板がない。黒部市の資料に記載していますが、行政と地元で協力して、しっかり付けていただきたいと思います。また、私は富山大学の産業観光学の講義をさせていただいています。学生が言ったんですね、産業観光では関電さんのプレゼンが一番よかったと。人気もダントツで、先ほどの映像も見て、学生はみんな自費で宇奈月に行ったんですが、黒部峡谷鉄道への駅の案内看板はありませんでした。

関電さんの電気記念館は素晴らしいです。万博に匹敵する施設になっておりました。10年ぐらい前に行った時と全然違って、利用は無料です。資料に宇奈月滞在と記載されていますが、その滞在時には電気記念館を見ていただく。トロッキョ電車のシアターがあって、高熱隧道を通った気分にもなります。地元でも宣伝していただきたい。

これらのように、実はやることは山ほどあるんです。単に商品をつくるだけでなく、併せて視察もしていただく。例えば、札幌や金沢の温泉旅館で接遇面はどうなのか。県の資料では、宇奈月や立山黒部に宿泊する商品のイメージとなっていて、是非泊まっていたいただきたいのですが、やっぱり金沢のほうが接遇面ではいいと思われないう磨き上げていくことがすごく大事です。商品を作るだけなら、このまま流れていくと思いますが、そういう面も含めて、役割分担と責任を明確にして、これを機会に富山の観光を一皮むけさせる、そのために必要な補助とかそういうものもお願いしていく体制になったらいいと思います。

いずれにしても、黒部ルートは本当にすばらしいので、磨き上げてキラーコンテンツとしてやっぱり凄いトリピーターがいっぱい来るようになったらいいなと思います。

### 【西村委員長】

ありがとうございます。大変具体的な提案をいただきました。

さて、ここからは特に地元の視点からご発言いただければと思います。

まず、黒部ルートを管理されている立場から関西電力の久米委員、ご発言いただければと思います。

### 【久米委員】

はい。ありがとうございます。

高木委員には今週ルートにお越しいただきまして誠にありがとうございました、大変お疲れだったと思います。あの日は非常に天気も良くて、鹿島槍ヶ岳、白馬、裏剣、立山とすべて山が一望できまして、非常に良い一日にお越しいただいたと思っております。日によって全く見えない日もあるので、非常によかったと思っております。

中島みゆきさんのNHK映像の件は弊社も頑張って交渉中でございますけど、弊社も経営状態が若干大変な状況の中で、如何せん費用が関係するものですから、頑張ってやらしていただきたいと思っておりますし、またご協力いただければ幸いと思っております。

先程からプロモーションの重要性が指摘されておりましたが、弊社の立場として、安全対策工事は引き続きやらせていただきますけれども、できることはPRといえますか、ご協力させていただきたいと思っております。先ほど県さんの資料でご紹介ありましたダム貯蔵酒は1年半後の2024年の一般開放に併せて蔵出し、ダム出しする記念の貯蔵酒を間もなくダム入れする予定になっておりまして、しっかりご協力させていただきたいと思っております。県内14の酒蔵にご参加いただいて、それぞれ「黒部ダム貯蔵酒」と名前が入った商品になると伺っております。一昨年入れたお酒を昨年試飲したところ、やっぱり非常にまろやかで美味しいというのが実感でございまして、(それより半年長く) 1年半置いたらどうなるのか非常に楽しみです。せっかくそういうお酒もできますので、2024年に来られるお客様にも楽しんでいただければと考えているところでございます。

また、県の資料にある商品造成のイメージの中で、信濃大町側もコースに入れているのは非常にありがたいと思っております。黒部開発、もちろん宇奈月から上がってきていますが、黒部ダム、黒四発電所ということで言いますと、信濃大町エリアは弊社にとって非常に重要なエリアで、今でも弊社の施設がたくさんあるものですから、そちらの方も連携して商品化していただければ非常にありがたいと思っております。電源開発の歴史という意味でもより一体的になるのではないかなと考えている状況でございますので、よろしく願いしたいと思っております。

### 【西村委員長】

ありがとうございます。

それでは、黒部ルートとの接続の観点から、黒部峡谷鉄道の鈴木委員、お願いします。

### 【鈴木委員】

黒部峡谷鉄道の鈴木でございます。

今年は昨年より大体2倍弱ぐらいのお客様、今夏もたくさんのお客様に  
お越しいただき、喜んでいただいたところです。

我々といたしましては、今日いろいろご説明をお伺いしまして、このように具体的  
にプロモーションや商品造成の行程を見させていただきますと、本当に地元の旅館の  
皆さんと一緒に期待しております。我々自身もPRをさせていただく部分もございま  
すが、受入れる側といたしまして、現在のお客様に喜んでいただいていますように、  
安全・安心して、喜んで使っていただいて、声をかけていただくための乗車をしてい  
ただく、というところをしっかりと見直していければというところでございます。

今後、旅行の商品内容が具体化されますと、例えば、駅で待っていただく間に情報  
提供するための様々な施設や仕組みなども考えないといけないと思いますので、その  
辺りは色々とお話を聞きながら、ご協力させていただきたいと考えております。

### 【西村委員長】

どうもありがとうございました。

同じく黒部ルートとの接続の観点から、立山黒部貫光の見角委員、お願いします。

### 【見角委員】

立山黒部アルペンルートの見角です。

今日はネーミングも決まりまして、これで全てが整ったということで、これから大  
きなスタートが切れると思っております。

キャニオンルートとアルペンルートが一体になって、富山県の観光に大きく貢献し  
たいと思っております。魅力的なルートであることをもっとアピールしていかなきゃ  
ならないと思っております。以前もお話しましたが、私どもアルペンルート内の各駅に  
デジタルサイネージがありますので、PR用のビデオ映像等を作っていただければ毎  
日のように流していきたいですし、大いにPRしていきたいと思っております。キャ  
ニオンルートは富山県内でも非常にインパクトがあり、一般開放によって県内を一周  
できることから、こんなに素晴らしいことはないと思うので、そういったものをもっ  
とPRしていただければありがたいと思っております。

黒部ルートはまだ一般開放されていませんが、協定で締結した人数枠は年間最大1  
万人ということで、今後は少しでも多くお呼びいただくことができるのであれば非常  
にありがたいと思っております。県との協定について何とも申し上げられませんが、  
色々ある条件がクリアされて、工事が終わればお客様を受け入れるだけだと思いま  
すので、そういったことも含めて考えていただければと思います。

### 【西村委員長】

ありがとうございます。続きまして、地元交通事業者の観点から、富山地方鉄道の  
村井委員代理、お願いします。

### 【村井委員代理】

富山地方鉄道の村井でございます。本日は社長の代理で出席させていただいております。

本日の会議資料を見て、具体的になってきたという感じを持っております。先ほどから話に出ている宇奈月温泉開湯100周年とか、当社のこれまでの成り立ちにも関わってくるお話があつて、興味深いところがございます。

ご承知のとおり、キャニオンルート、アルペンルートともに平地側で接続しているのは当社でございますので、今後、具体的な商品化の際は、これらのルートと繋ぐ当社独自の商品造成も必要と思っております、ツアーに組み込まれば、対応してまいりたいと考えております。

先ほどお話にありましたけれども、ホスピタリティの課題もあると思います。私ども社員研修ですとか、サービスの向上をポイントにしながら進めて参りたいと思っております。特に、新幹線や飛行機で来られたお客様は、この両ルートへの移動で当社線の利用が多くあることを考えると、両ルートの入り口でつまづくことがないように頑張っていきますので、ご協力をお願いしたいと思います。ありがとうございます。

### 【西村委員長】

ありがとうございます。

では続きまして、地元の宇奈月で宿泊事業を運営されておられます、宇奈月温泉旅館協同組合の濱田委員、お願いします。

### 【濱田委員】

新名称も決まりまして、これからは色んな形で宣伝していくのみと思っております。

この間、関西電力さん、黒部峡谷鉄道さんには大変なご尽力をいただきまして、ありがとうございます。

宇奈月温泉には黒部峡谷セレネ美術館があります。ここには7名の作家が黒部峡谷、まさにこのルートを描いた作品がありますが、これらの作品は院展や春の院展の出品作として多く収蔵しており、黒部市の所有となっております。作家は非常に著名であるため、宇奈月（黒部峡谷）の取材中に何かあった場合、国家的損失になってしまいます。そのため、1人の作家に対して山男、宇奈月方面山岳遭難対策協議会の救助隊が3～4名、その人件費は膨大な金額になりますが、ボランティアで同行してきました。ここには、当時、東京芸術大学の学長をしていた平山郁夫先生の作品が11点あり、全て黒部峡谷、まさにこのルートを描いています。また、日本芸術院理事長の田淵俊夫先生は、2年前に行われた大嘗祭の屏風を描いており、これは日本で最高の先生しか描けないものですが、その田淵先生の作品も多く収蔵しております。

2年前、明治天皇鎮座100年の際に取り替えた屏風を描いたのは手塚雄二先生で、東京芸術大学日本画の教授でしたが、今は退官されて名誉教授になっております。明治神宮の明治天皇鎮座100年の作品として描かれることも、日本で最高の人しかできないものです。まさにそういったものも活用しながら、芸術の面でも付加価値を高めて、キャニオンルートをPRしていければいいかなと思います。

これまで、セレネ美術館は県の印刷物にあまり載っておりません。これを何とか表に出していきたいということで、今から29年前、平山郁夫先生にセレネ美術館の事業について協力依頼したところ、平山先生は、美術館が認知されるのには大体30年かかると言われましたが、セレネ美術館はまさに来年30周年を迎えます。美術館がこの先世界に認められて、羽ばたいていくのかなと大変嬉しく思います。

先程、高木委員から宇奈月温泉の接遇面の話があって、プレッシャーを感じていますが、リピーターになっていただけるよう質の高いサービスを提供する商品を作っていきたいと思います。

セレネ美術館は開館以来、色んな方が携わってきた美術館なので、開館30周年を機に表に出していただければいいと思います。

### 【西村委員長】

それでは続きまして、宇奈月の住民の立場から、宇奈月温泉自治振興会の河田委員、お願いします。

### 【河田委員】

宇奈月温泉自治振興会の河田でございます。

会議の資料を見て、黒部ルート的一般開放・旅行商品化が進んでいることを改めて実感しました。県や関西電力、JTBの方には感謝したいと思います。

宇奈月温泉における取組みにつきましては、先ほど黒部市からご報告がありましたが、地元としては宇奈月温泉開湯100周年と黒部ルート的一般開放を一つのセットとして考えて、この2～3年で宇奈月温泉の価値を改めて作っていくことを目指して、セレネの活性化や宇奈月の景観など、様々な課題について各方面と協力しながら一生懸命取り組んでいるところです。

開湯100周年実行委員会の委員長の立場として、開湯100周年ではこれまでの温泉の歴史を振り返り、先人の苦勞に改めて感謝する機会であると同時に、宇奈月・黒部の新しい出発になるような節目にしたいということで、様々な事業に取り組んでいきたいと思っております。来年、2023年に100周年を迎えますが、事業は少し暖かくなってきてから、トロッコ電車が動き出す4月からスタートしたいと思っております。その前、宇奈月温泉スキー場を活用したイベントは100周年事業に位置付けるとともに、今年は100周年のプレイベントを実施していますが、来月頃からもっと積極的に100周年の告知や盛り上げをしていかなければならないと思っていて、幟やステッカーを用意して盛り上げたいと思っております。来年が100周年の本番ですが、5～6月に記念式典を開催できればと思っております。いずれにしましても、100周年が宇奈月温泉を盛り上げる素材にしたいと考えているので、ご協力をお願いしたいと思います。

それから、黒部市から報告ありましたガイドの会についても、結成して以来、養成講座や実地研修、実際のガイドなど活動してきましたが、来年の100周年と黒部ルート的一般開放を前に、もう少し具体的に進めていきたいと考えていて、この秋には、名称を含め検討中ですが、「うなさんぽ」と言うガイドを検討していて、色んな形でガイドの質を向上させるとともに、実際に行動していきたいと思っております。黒部

ルート一般開放の際には、宇奈月のガイドの会を活用していただけるよう努力していきたいと思っておりますので、宜しく申し上げます。

#### 【西村委員長】

ありがとうございます。

続きまして、地元、黒部・宇奈月のDMOであります黒部・宇奈月温泉観光局の川端委員、お願いします。

#### 【川端委員】

黒部・宇奈月温泉観光局の川端でございます。

今回、名称を「黒部宇奈月キャニオンルート」に正式に決定いただきまして、ありがとうございます。名称が決まらなくて、どう発信していけばいいか悩んでおりましたが、これから名称を色んな形で発信していきたいと思えます。

このルートにつきましては、立山アルペンルートと一体に考えていくものです。このルート自体は景色を楽しむより、電源開発の歴史を体感するものとして、産業観光的な要素が強いルートではないかと思えます。ですから、周遊することによって、アルペンルートで景色を楽しむ、キャニオンルートで電源開発の歴史を学ぶという二つの全く違う側面を感じていただく、日本でも第一級の素晴らしいルートではないかと思っております。

県の説明にもありましたけども、産業観光の観点から、宇奈月温泉で事前にレクチャーを受ければ、ルートの景色が全然違って楽しめると思えますし、高木委員が説明された電気記念館や濱田委員が説明されたセレネ美術館も活用すれば、よりルートを深く感じていただけたらと思えます。セレネ美術館で展示している絵はルートの外から見たもので、実際、ルート内はトンネルも多くそのように見ることはできませんが、外から見た絵を見てからルート内でその景色を改めて感じていただくこともあるかと思えます。

それから、商品造成や販売体制等に対するご意見がありました。是非早めに教えていただければ、観光局も旅行業登録していますので、何か参加できるのか、他の皆さんも関心を持っていると思えますので、宜しくお願ひしたいと思えます。

#### 【西村委員長】

ありがとうございます。

それでは、県外からお越しいただいている有識者の方から幅広い視点からのご意見をいただきたいと思えます。桜美林大学の渡辺委員、お願いします。

#### 【渡辺委員】

だいぶ時間が押しているようなので手短かに。桜美林大学の渡辺です。観光マーケティングを専門としております。

黒部宇奈月キャニオンルートですが、一般開放まであと2年間なんです、あつという間の感じがしています。改めて今日、関西電力さんのプレゼンテーションを拝見し

て、すごいご苦勞があった上で出来ていると改めて思いました。だから、大事に行きたいという感じがします。皆さんの話の中で、この黒部宇奈月キャニオンルートがキラコンテンツ、第一級という話があり、全くその通りだと思うんですね。日本の観光界にとっても、この開放は非常に大きいイベントだと思います。例えば、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開業や本四架橋開通に匹敵するような観光界のポイントだと思います。

これに関連して、いかに活かしていくか、二点お話ししようと思います。一点がスピードアップ、もう一点がグレードアップです。

スピードアップに関しては、観光マーケティングの中で、観光資源のインパクトとどのくらい遠くからお客さんをお呼べるかという関係は正比例するというセオリーがあります。つまりキャニオンルートは、非常に強いインパクトがある観光資源ですので遠いところからお客さんをお呼べる、だからインバウンドを対象にすることは非常に正しい考え方ですね。先程マイクロツーリズムという話がありました。マイクロツーリズムで、近くにある重要な観光資源に注目することも大事なことです。今回は遠いところからお客さんをお呼べる力を持っている観光資源ができることだと思います。

その上で、販売方法のお話がありましたけれども、基本的には、JTBさんを幹事とする旅行会社中心に販売していくという体制がとられると聞いていますが、これはあらためて正しい手法です。旅行会社の全国的なチャネルを利用して、黒部宇奈月キャニオンルートをお呼んでいくのは正しいと思います。FITよりも、一般旅行会社のチャネルを利用するということですね。その上で、そうなると、基本的にはパック旅行、募集型企画旅行を販売する旅行会社としては、何が仕入れられてどのように売ることがポイントになります。どういう商品が幾らぐらいで仕入れられるのかという点を旅行事業者が早く伝えることが必要になりますが、その時期がもう迫っているのではないかと思います。県の資料9ページにあるスケジュールで、来年1月ぐらいから想定商品ラインナップを旅行会社に紹介とありますけれども、できればもう少し前倒しできたほうが、今お話しした商品造成・商品販売をしていく旅行事業者さんの立場から言えばありがたい、より良い販売体制がつかれるのではないかと思います。

二点目、グレードアップについてですが、これもお話しにありましたように、在庫数が最大1万人と決まっている商品です。在庫数、販売数が決まっていることから、この効果を最大限にするためには単価を上げる必要があります。単価を上げることが富山県の観光経済に大きく貢献するのではないかと思います。つまり高く売る、これも随分議論がありました。プレミアムの的に売らなきゃいけない、高付加価値でなくてはならないということなんですね。例えば、ANAの高い運賃で飛行機に乗る場合、出発前にラウンジで食事を無料で食べることができて、搭乗時には優先搭乗ができる。このようなプレミアム感が黒部ルートの商品には必要になるんですね。

恐らく、1人当たり20万円前後の商品になるかと思います。そうすると、例えばで恐縮ですが、トロッコ電車に乗る方やアルペンルートを旅行される方とは違う、差別化、特別感を与える必要があるという意味です。トロッコ電車に乗るときに違うゲートから入場できたり、特製のチケットがあったり、ガイドさんがちょっと素敵なユニフォームを着ていたり、そういったプレミアム感を出すことが必要なんですね。おそ

らく、キャニオンルートそのものではプレミアム感を出しにくいと思いますし、電源開発の歴史という点で出すべきじゃないかもしれません。そこで、キャニオンルートの前後であるトロッコ電車、アルペンルート、或いは宿泊でこのプレミアム感を出していかないと経済効果が大きくなれないと思っております。

今日は、スピードアップとグレードアップについてお話させていただきました。

#### 【西村委員長】

ありがとうございました。大変説得力があるお話でした。

最後に、地元市長の立場でもある武隈委員、お願いします。

#### 【武隈委員】

黒部市長の武隈です。

まずは、富山県さん、関西電力さんをはじめ、関係の皆様方に大変ご尽力いただきまして、どんどん具体化していくことに感謝申し上げます。また、先ほどから数名の方のお話にありましたけれども、ネーミングも決まって、これも黒部市への配慮をいただきながら決まったことに対して、改めて感謝を申し上げます。

今回のご意見を聞いて、県の資料に旅行商品の造成イメージがありますが、滞在型観光ということで、黒部ルートだけではなくて宇奈月温泉、もっと広く捉えれば、黒部市、新川地域でどうお迎えするかということも捉えていると思います。その中で、高木委員などからのお話にありましたように、来てもがっかりしないようなまちづくりも必要と考えております。幸いにして、黒部市が計画を策定した観光庁の廃屋撤去や宿泊施設等の高付加価値化に係る補助事業について、本日採択されたと公表されましたので、案内看板の設置も含めて取り組んでまいりたいと思います。それから、セレネ美術館は時々見に行っていますが、非常に素晴らしい美術館だけれども、地元の人はあまり見に行かないという話がありました。地元には色んな資源があるので、それを地元の方々と有機的に結び付けて、滞在するときに付加価値のある地域にしていきたいと考えております。今後とも、皆様方からご意見やアドバイスをいただきながら、宇奈月、黒部市全体、新川地域全体で相応しい受入体制を整備していきたいと考えておりますので、引き続き、よろしく願いしたいと思っております。

#### 【西村委員長】

どうもありがとうございました。それでは最後に、蔵堀副知事から一言いただければと思います。

#### 【蔵堀副知事】

本日、皆様から多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見を参考に更に磨き上げていきたいと考えております。関西電力さんや黒部峡谷鉄道さん、立山黒部貫光さん、地元の黒部市さんをはじめ、今日ご出席の関係の皆様には是非、ご支援・ご協力もいただきたいと思っております。この黒部ルートですが、一つは大自然の魅力です。二つ目は電源開発の歴史を直に体験できるものと思

っております。渡辺委員からもご指摘ありましたけれども、満足度をどう高めていくか、どうしたら満足感の高い旅行商品になるかということについて、これから事務局のほうで考えてまいりたいと思っております。また、その入り口にある宇奈月温泉のまちづくりも大事だと思っておりますし、黒部峡谷鉄道に乗っている時間が長いので、その時間をどうしていくかも課題だと思っております。いずれにしても、一般開放・旅行商品化までの時間が迫っていますので、県のほうでも一生懸命対応してまいりたいと思っております。皆様、宜しくお願いいたします。

#### 【西村委員長】

どうもありがとうございました。色んなご意見をいただきました。

私は日本イコモス国内委員会の委員長を長く務めていましたが、5年ほど前に「日本の20世紀遺産20選」を選定しました。世界で各国が20世紀に遺産として将来残すものを20点選ぶもので、日本でも20点選びましたが、黒部峡谷の電源設備が4番目に選ばれました。20選は世界遺産になる可能性が高い順となっていますが、1番目が上野公園、2番目は代々木体育館、これらはオールジャパンです。3番目が立山砂防、4番目が黒部峡谷の電源設備、5番目が本四架橋、6番目が青函トンネル。本四架橋や青函トンネルより、黒部の発電所のほうが価値が高いということです。ベスト5に富山県内から2点選ばれていますが、世界に見ても価値が高く、50年後には世界遺産となっているかもしれないので、そういった意味でも是非アピールしていただきたいと思っております。

## 5 閉会